

2024.03.22

2023年度  
地域包括医療病棟に関する  
緊急調査「速報」  
(R6地メディ病棟調査)

令和6年度  
地域包括医療病棟に  
関する緊急調査



一般社団法人  
地域包括ケア病棟協会  
Japanese Association of Hospitals for Community-based Care

10

# 2024.02.27 地域包括ケア病棟協会会員調査

地域包括ケア病棟協会 会員各位



会長 仲井培雄

平素は当協会の活動にご理解とご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

2024年度の診療報酬改定で、新たに地域包括医療病棟が新設されます。そこで今回その対応について緊急調査を実施致しますので、是非とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

地域包括医療病棟を届け出るかどうか、その際に変更元の病棟は、地域包括ケア病棟か、急性期一般病棟か、その他かを問います。また、希望する研修会等の内容、ご意見についても調査致します。

■調査対象:2024年2月1日現在、地域包括ケア病棟・病室を届け出ている病院。

■調査内容:添付調査票のとおり（エクセルに直接入力お願い致します。）

■回答期限:3月4日(月)17時

■返信先:エクセルをメールに添付して返信お願い致します。メールアドレス⇒[info@chiiki-hp.jp](mailto:info@chiiki-hp.jp)  
(エクセル・ファイル名に貴院の名称を加えてください。)

(※本メールは2023年12月末時点での会員登録情報に基づき配信しております。ご担当者様が異なる場合、大変お手数ではございますが転送をお願い致します。なお、登録情報変更のご連絡を頂いている場合には、順次変更致しますのでご了承ください)

配布数 548病院  
回答数 112病院  
回収率 20.4%

■地域包括ケア病棟を届け出ている地域包括ケア病棟協会の会員施設に対して、地域包括医療病棟届出の意向調査を実施した。

地域包括ケア病棟を届け出ていたら「急性期充実体制加算」、「総合入院体制加算」、「地域医療支援病院(大部分)」は、届け出できない。

# 調査票

※本アンケートは、2024年2月時点で、地域包括ケア病棟（病室）を届け出ている病院に伺っています

※集計や結果の公開にあたっては、法人や施設の名称やお名前が特定されないように取り扱います

※ご回答は、色付セルに入力して下さい

※地域包括ケアを「地ケア」と略して表記します

施設名：			
ご記入者：	お役職	お名前	
郵便番号(ハイフンなし)：			
二次医療圏名：			

## 1. 基本情報（2024年2月1日現在の情報をお答え下さい）

1) 許可病床数  床 ※介護医療院は許可病床に含みません

2) DPC対象病院である  } ←該当する項目に 1 を入力して下さい  
 DPC対象病院ではない

3) 貴院は地ケア病棟を有する病院機能のどれに分類されるでしょうか？

※右の「病院機能の分類」をご覧ください

①急性期ケアミックス型  } ←該当する項目に 1 を入力して下さい  
 ②ポストアキュート連携型   
 ③地域密着型

・急性期ケアミックス型：急性期一般入院基本料6以上の急性期病棟があり、病床機能報告に照らして一定以上の急性期機能を有していると自ら判断し、病院全体として急性期を最も重視している病院です。

・ポストアキュート連携型：病院全体の実入院患者数の概ね半数以上が他院からのポストアキュートを受け入れる病院です。実患者数が半数に届くかどうか判断に迷う場合は、次の“どちらでもない”を選択して下さい。

・どちらでもない（地域密着型）：多くは自宅や居住系施設、介護施設などで療養している患者の内科的・外科的急性増悪や軽症急性疾患などのいわゆるサブアキュートを中心に受け入れる病院です。これに該当しない特徴ある医療に特化している病院も含まれます。当協会では「どちらでもない」を地域密着型と定義しています。

※急性期一般入院基本料1～6以上の急性期機能を届出していない病院は、①急性期ケアミックス型を選ぶことはできません | 10

# 調査票

4) 貴院が満たしている要件をお答えください

①在宅療養支援病院	
②在宅療養後方支援病院	
③救急告示	
④2次救急指定病院	
⑤救急外来の設置もしくは24時間の救急医療提供	
⑥訪問看護ステーション	

←該当する項目に 1 を入力して下さい

5)2023.4.1～2024.1.31までの10か月間の救急実績と手術実績についてお答えください

①救急搬送受入れ件数		件
②全身麻酔手術件数		件

6) 届出病棟（2024.2.1現在）の**病棟数**をお答えください

①ICU、CCU、HCU等の治療病棟		病棟	管理料算定
②急性期一般入院基本料1		病棟	
③急性期一般入院基本料2～6		病棟	
④地域一般入院基本料		病棟	
⑤-1 回復期リハビリテーション病棟（一般病床）		病棟	
⑤-2 回復期リハビリテーション病棟（療養病床）		病棟	
⑥-1 地域包括ケア病棟（一般病床）		病棟	
⑥-2 地域包括ケア病棟（療養病床）		病棟	
⑦療養病棟		病棟	
⑧障害者施設等入院基本料		病棟	
⑨その他		病棟	

← 地ケア管理料を算定している病床に 1 を入力してください

# 調査票

## 2. 今回新設される地域包括医療病棟についてお伺いします

1) 地域包括医療病棟への転換をされますか？

①する

a. 6月中旬	
b. 7月1日～9月31日まで	
c. 10月1日以降	

②しない

③検討中または未定

←該当する項目に 1 を入力して下さい

2) 2-1) で地域包括医療病棟への転換をすると回答した施設のお伺いします

地域包括医療病棟への転換元として予定している病棟をお教えてください

①ICU、CCU、HCU等の治療病棟

②急性期一般入院基本料1

③急性期一般入院基本料2～6

④地域一般入院基本料

⑤-1 回復期リハビリテーション病棟（一般病床）

⑤-2 回復期リハビリテーション病棟（療養病床）※一般病床に変更した上で

⑥-1 地域包括ケア病棟（一般病床）

⑥-2 地域包括ケア病棟（療養病床）※一般病床に変更した上で

⑦療養病棟 ※一般病床に変更した上で

⑧障害者施設等入院基本料

⑨その他

←該当する項目に 1 を入力して下さい

3)2-2)で転換予定の病棟に地ケア管理料を算定する病床を有している場合にお答えください

①地ケア管理料の算定を他病棟に移し実施する

②地ケア管理料の算定を取りやめる

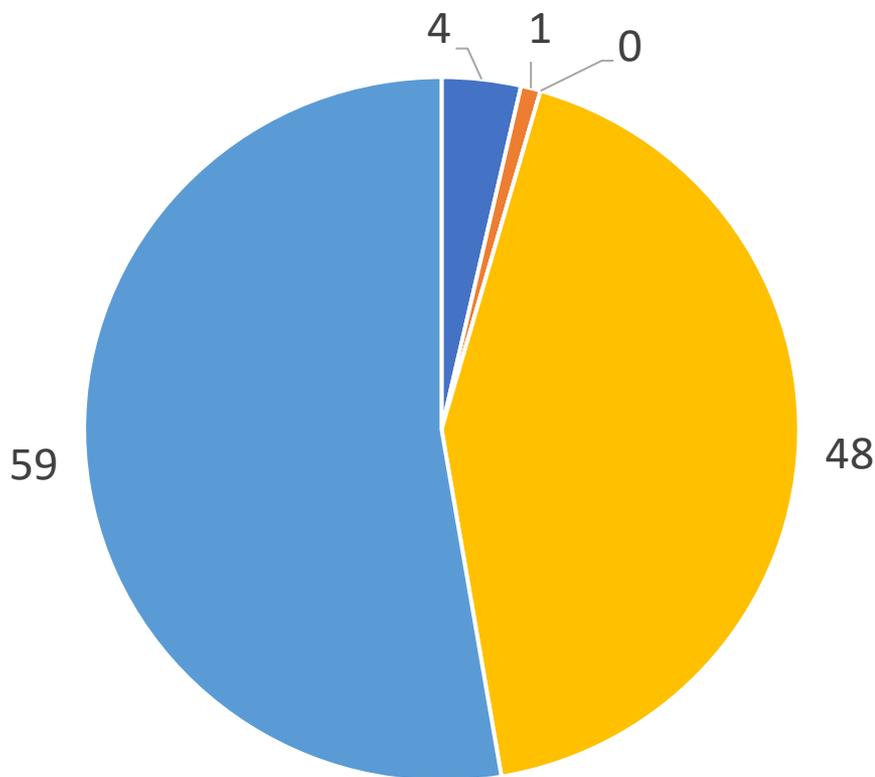
③その他

←該当する項目に 1 を入力して下さい

←具体的な方法をご記入ください

## ■ 全体解析 (n=112)

# 地域包括医療病棟への転換の意向



地域包括医療病棟  
医療 → medical → メディカル  
地メディ病棟

転換の意向	n	%
する(6月中)	4	4.5
する(7/1~9/31)	1	
する(10/1~)	0	
しない	48	42.3
検討中・未定	59	53.2
合計	112	100

する  
5  
件

- する(6月中旬に)
- する(7月1日~9月31日まで)
- する(10月1日以降)
- しない
- 検討中または未定

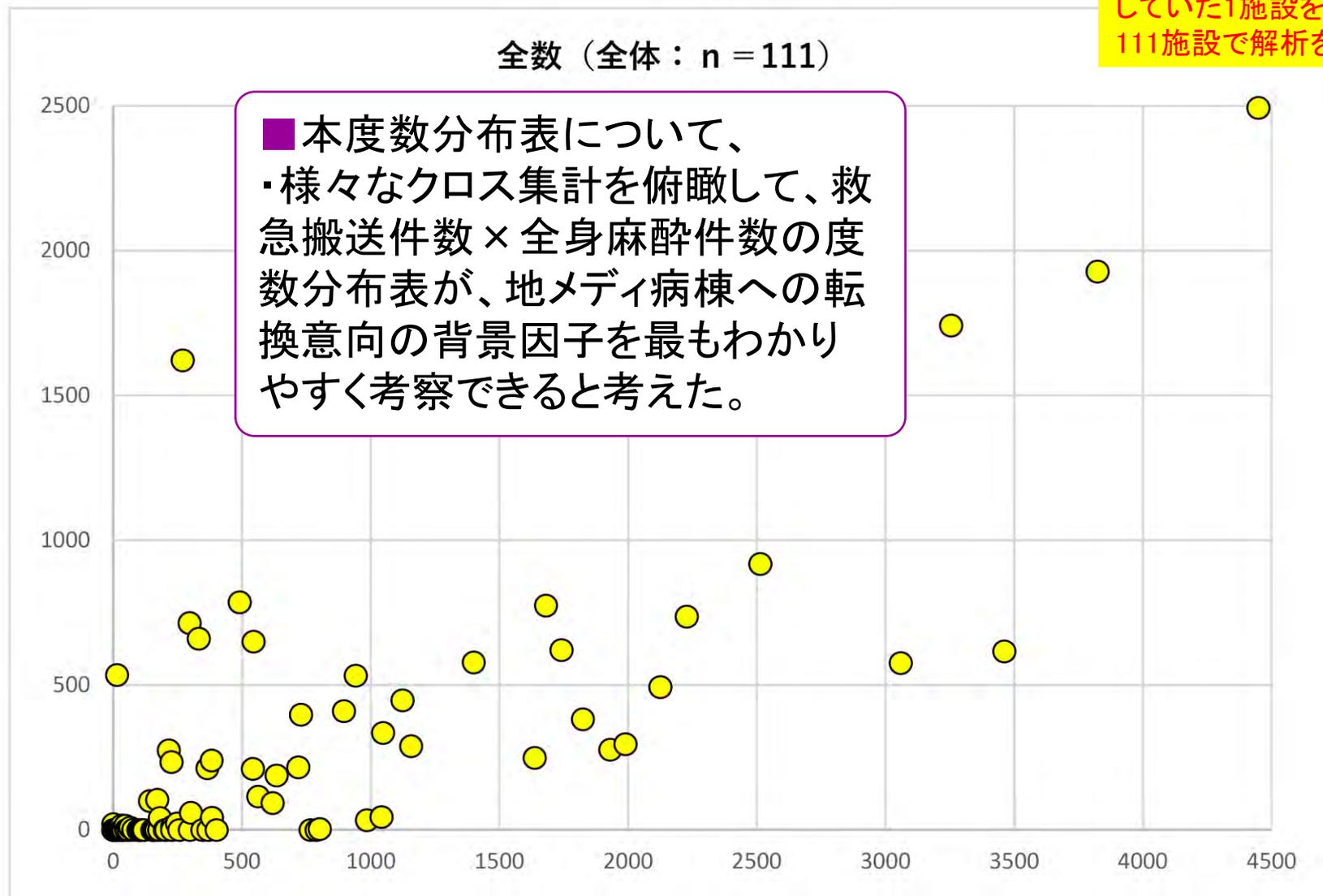
# 度数分布表(救急搬送件数×全身麻酔件数)



2023.04.01～2024.01.31(直近10ヵ月間)

※以降、両件数が欠落  
していた1施設を除く、  
111施設で解析を実施

全身麻酔件数



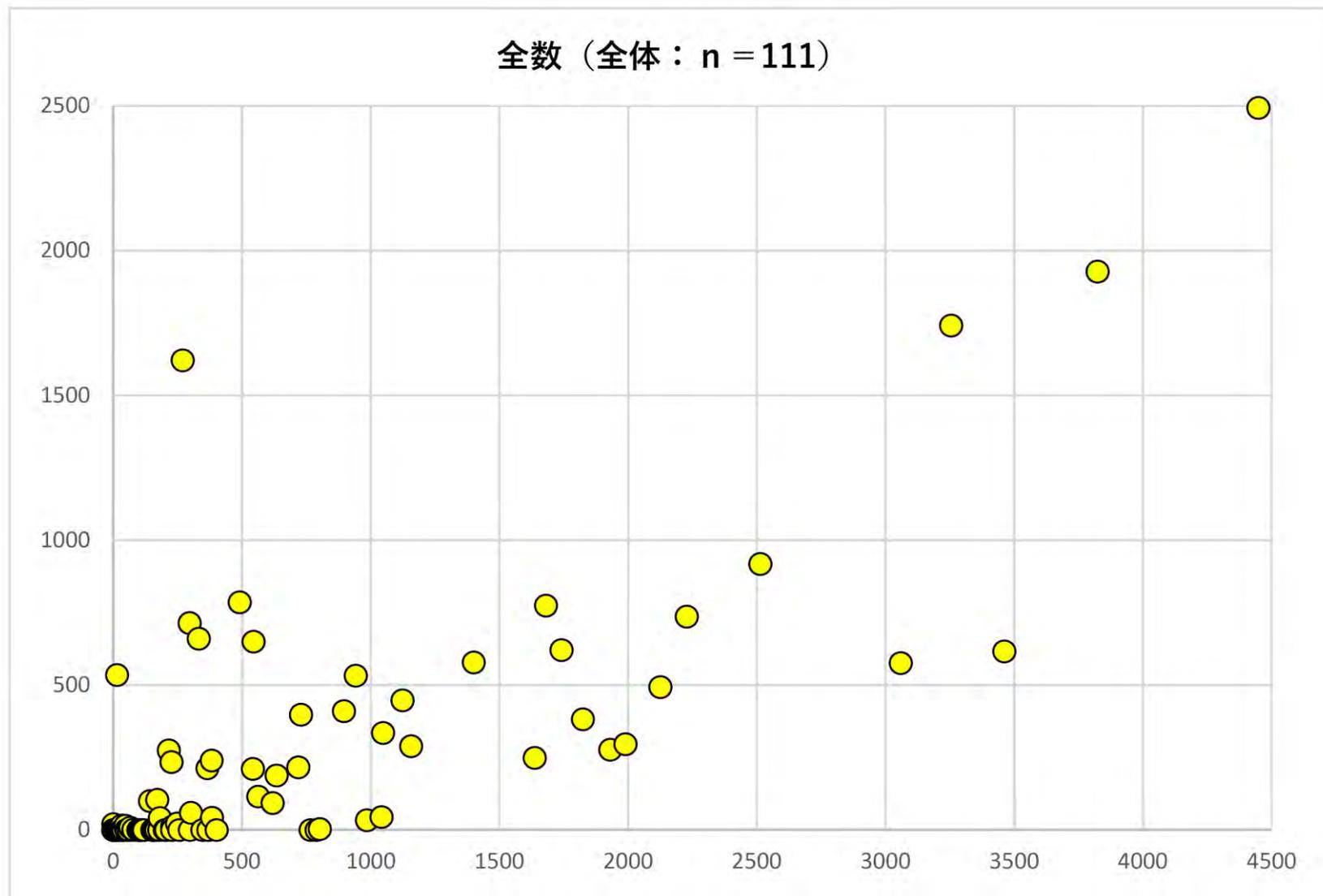
救急搬送件数

# 度数分布表(救急搬送件数×全身麻酔件数)



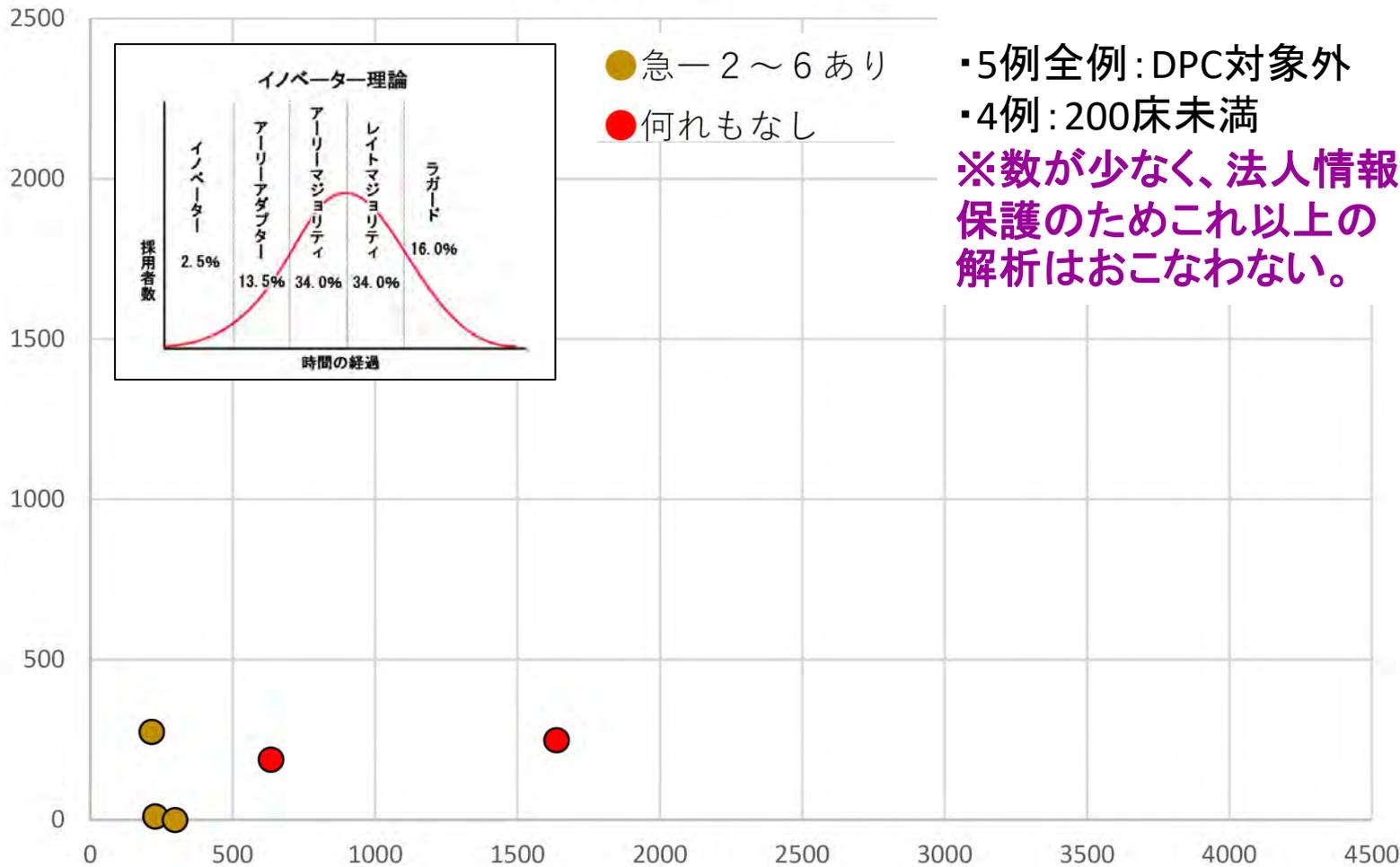
2023.04.01~2024.01.31(直近10ヵ月間)

全身麻酔件数



# イノベーター

転換する (全体: n = 5)



全身麻酔件数

救急搬送件数

※以降、両件数が欠落  
していた1施設を除く、  
106施設で解析を実施

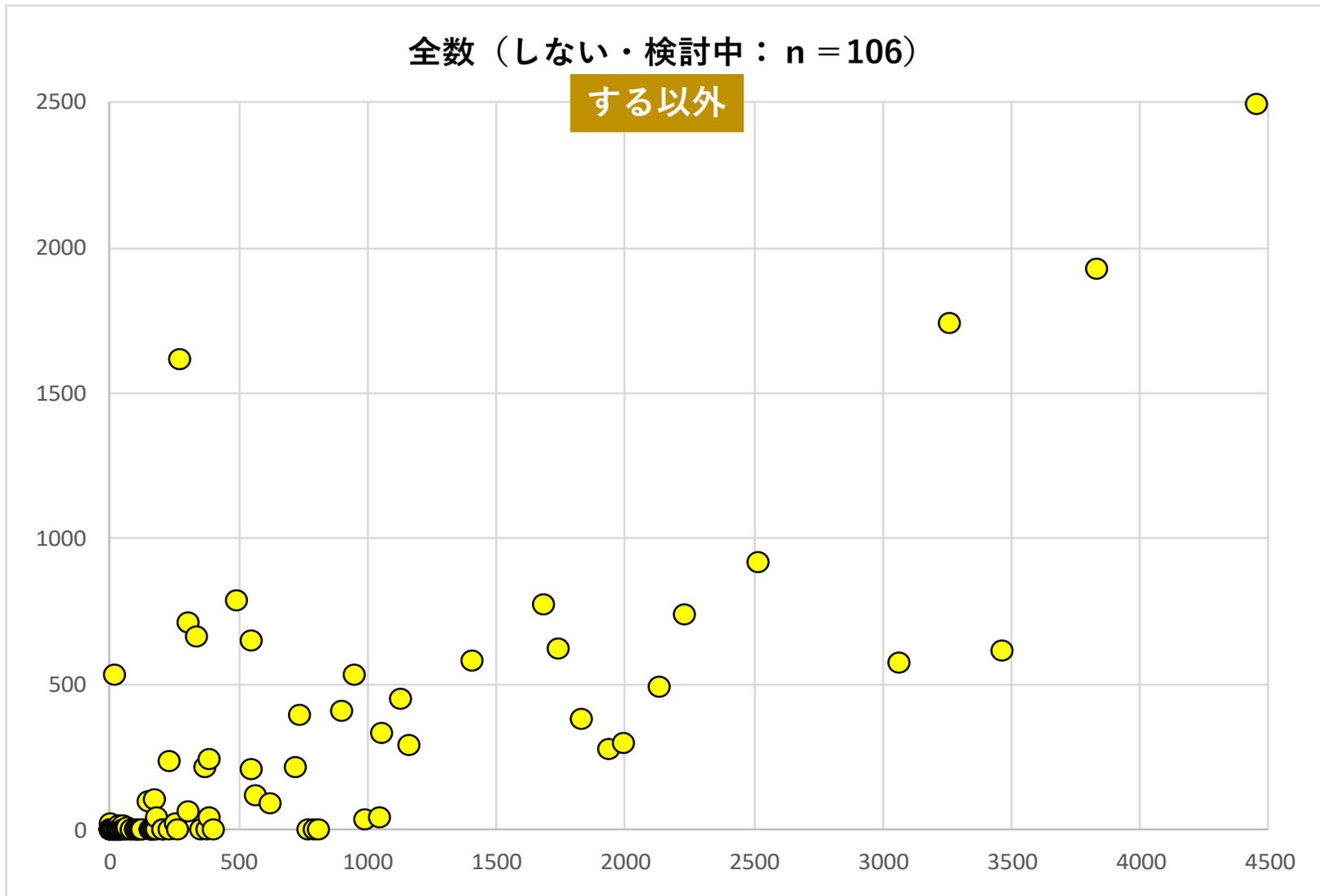
## ■ サブ解析 (n=106)

— しないと検討中・未定（する以外） —

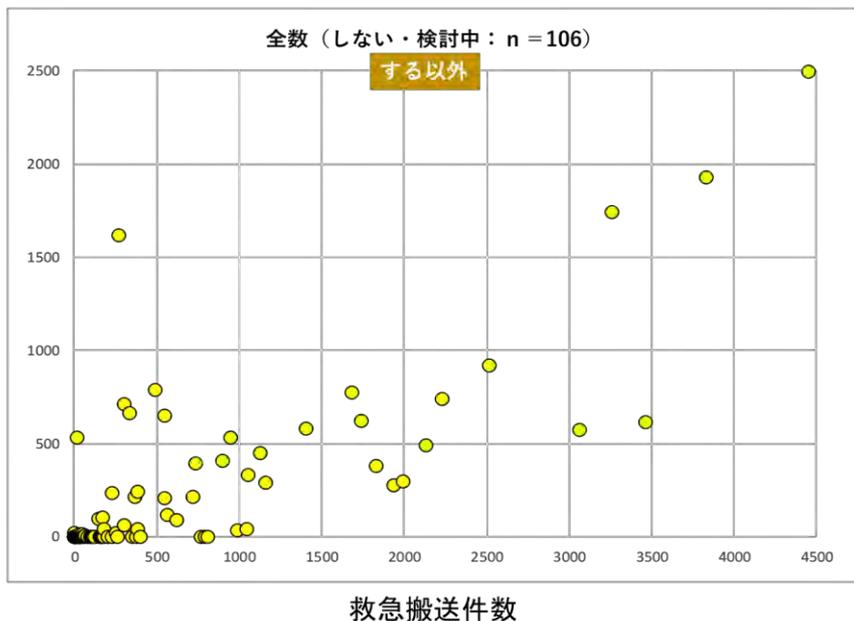
# サブ解析 (n=106) 度数分布表 (直近10カ月間)



全身麻酔件数



# サブ解析 (n=106) する以外の特徴



## (する以外) 高頻度項目:

- ・地域密着型 (25)
- ・200床～ (50)
- ・急(一) (25)
- ・DPC(一) (25)
- ・救急指定(+) (50)
- ・療養(一) (12.5)

(数字): 各カテゴリーの中で、最頻項目と2番目との%の差(ポイント:pt)を示す。ptが大きい程頻度も高い。

≥ 50pt	一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。
≥ 25pt	
≥ 12.5pt	

n		106	100%
		<b>する以外</b>	
		合計	
病院機能	急性期CM	34	32.1%
	PA連携	23	21.7%
	地域密着	48	45.3%
	未回答	1	0.9%

許可病床	200床未満	82	77.4%
	200床以上	24	22.6%

DPC	DPC	33	31.1%
	非DPC	73	68.9%

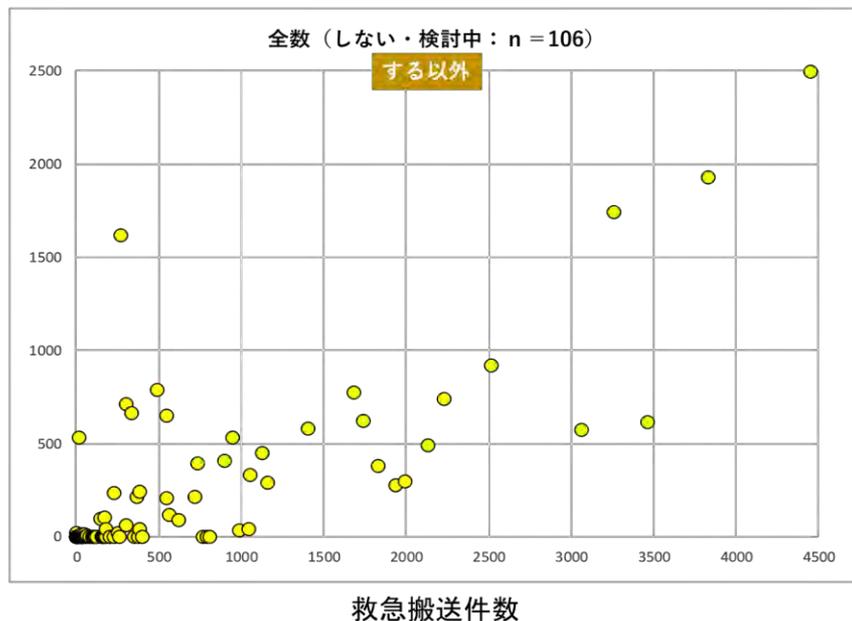
急1、急2～6	急1	21	19.8%
	急2～6	34	32.1%
	何れもなし	51	48.1%

医療法上の療養病床棟割合	なし	59	55.7%
	あり	40	37.7%
	全て	7	6.6%

回りハ	あり	49	46.2%
	なし	57	53.8%

救急告示、二次救急	あり	76	71.7%
	なし	30	28.3%

# サブ解析 (n=106) する以外の特徴



## (する以外)の特徴:

■ しないと検討中・未定の比較

■ 同一カテゴリ内で、最高頻度と2番目の差が12.5pt以上の高頻度項目

□ 検討中・未定 □ しない

・共に該当なし

■	≥ 50pt	一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。
■	≥ 25pt	
■	≥ 12.5pt	

n		106		100%	
		47	59	44.3%	55.7%
		する以外		する以外	
		しない	検討中	しない	検討中
病院機能	急性期CM	7	27	6.6%	25.5%
	PA連携	11	12	10.4%	11.3%
	地域密着	28	20	26.4%	18.9%
	未回答	1		0.9%	

許可病床	200床未満	37	45	34.9%	42.5%
	200床以上	10	14	9.4%	13.2%

DPC	DPC	10	23	9.4%	21.7%
	非DPC	37	36	34.9%	34.0%

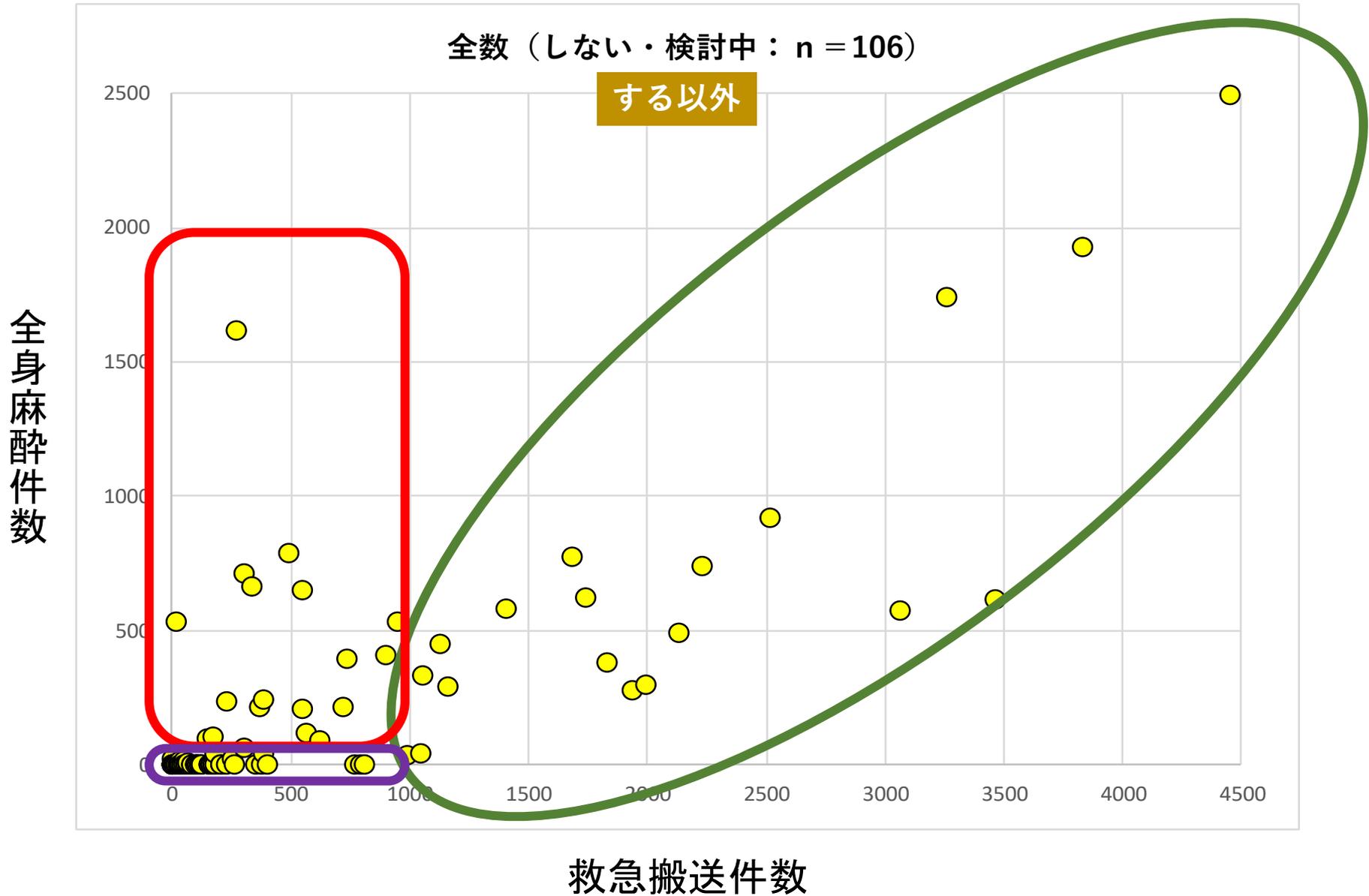
急1、急2～6	急1	6	15	5.7%	14.2%
	急2～6	12	22	11.3%	20.8%
	何れもなし	29	22	27.4%	20.8%

医療法上の療養病床病棟割合	なし	25	34	23.6%	32.1%
	あり	16	24	15.1%	22.6%
	全て	6	1	5.7%	0.9%

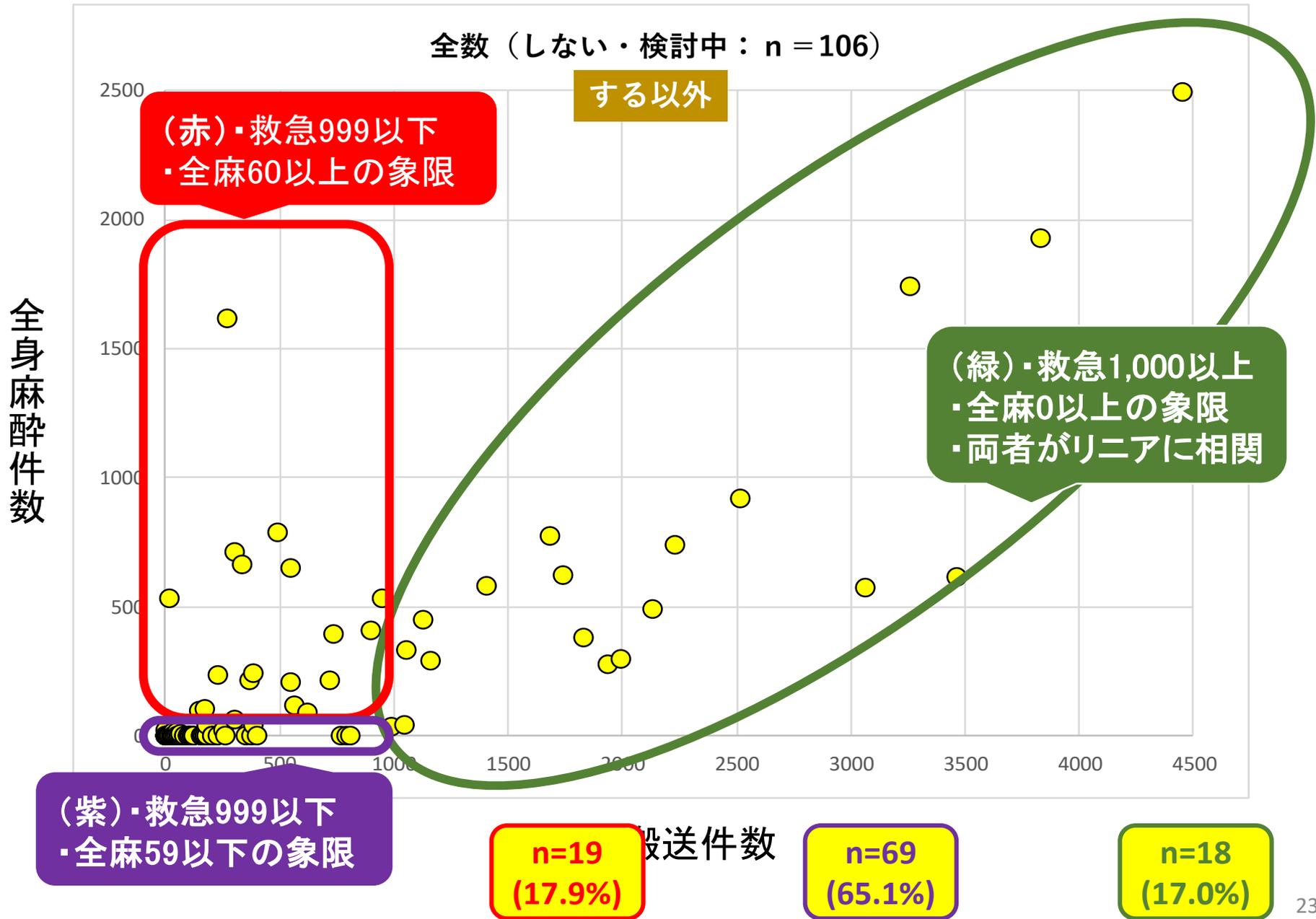
回りハ	あり	23	26	21.7%	24.5%
	なし	24	33	22.6%	31.1%

救急告示、二次救急	あり	34	42	32.1%	39.6%
	なし	13	17	12.3%	16.0%

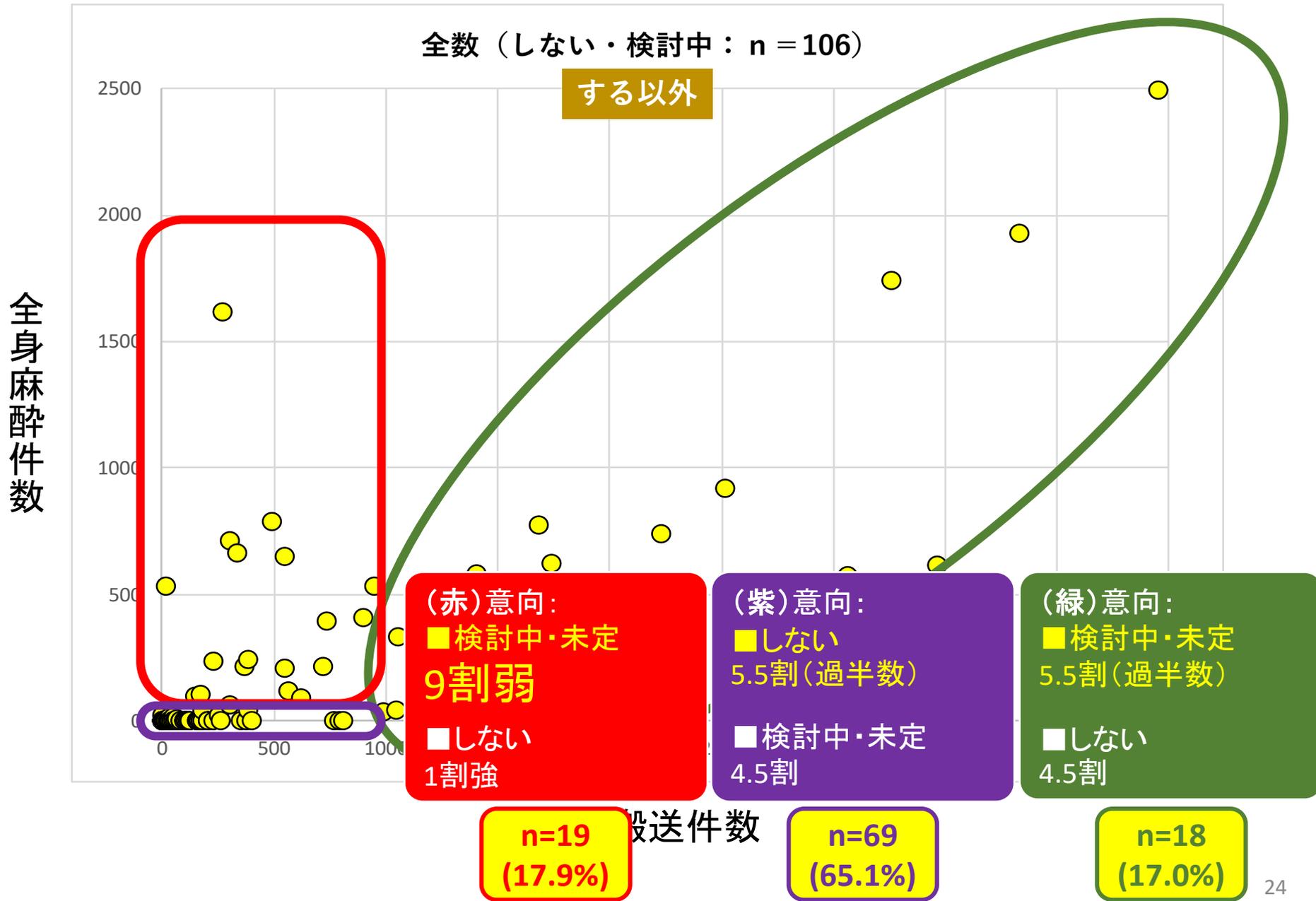
# サブ解析 (n=106) 度数分布表 (直近10カ月間)



# サブ解析 (n=106) 度数分布表 (直近10カ月間)

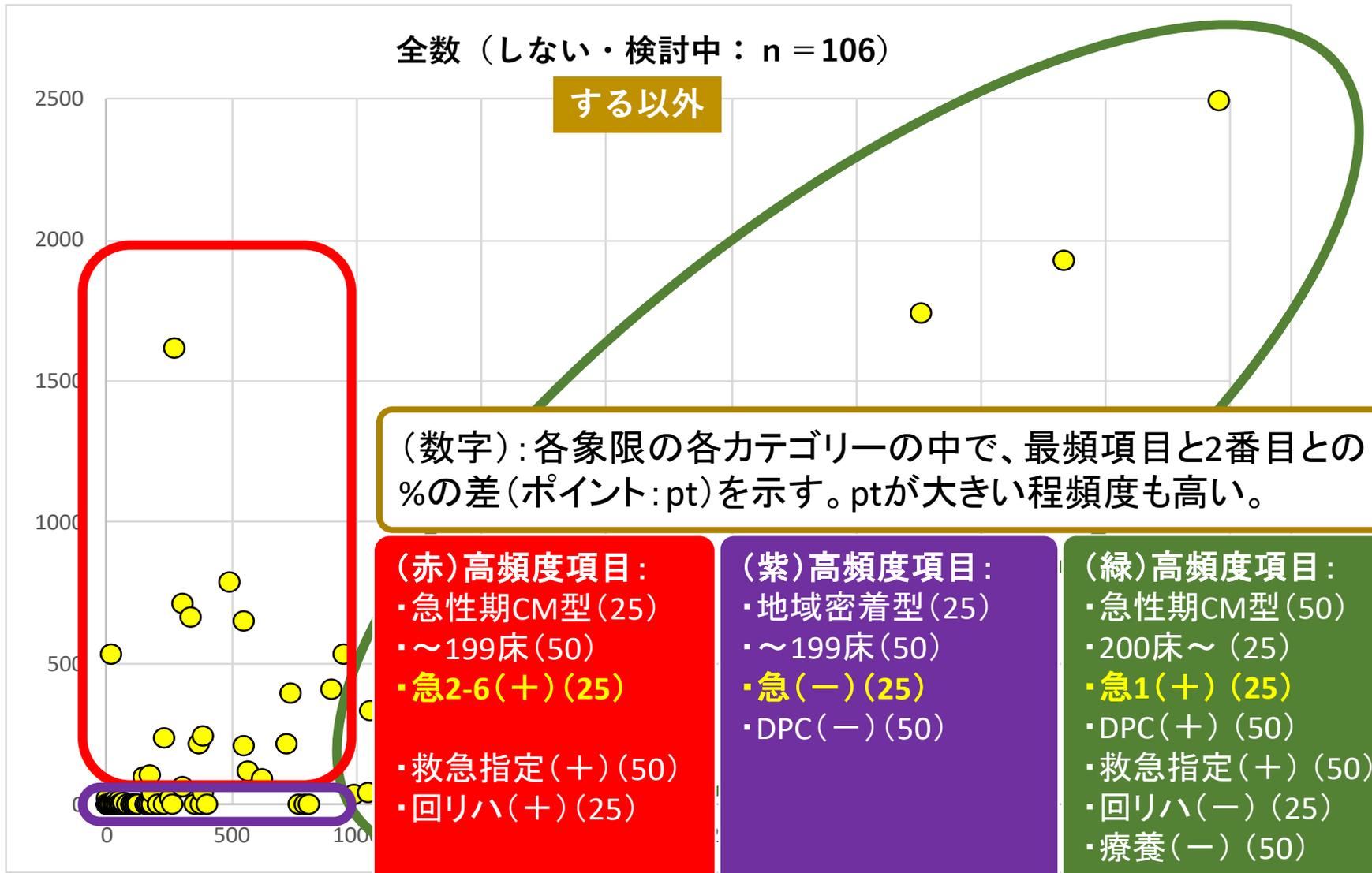


# サブ解析 (n=106) 各象限の転換意向



# サブ解析 (n=106) 各象限の高頻度項目

全身麻酔件数



- (赤) 高頻度項目:**
- 急性期CM型 (25)
  - ~199床 (50)
  - 急2-6 (+) (25)
  - 救急指定 (+) (50)
  - 回りハ (+) (25)

- (紫) 高頻度項目:**
- 地域密着型 (25)
  - ~199床 (50)
  - 急 (-) (25)
  - DPC (-) (50)

- (緑) 高頻度項目:**
- 急性期CM型 (50)
  - 200床~ (25)
  - 急1 (+) (25)
  - DPC (+) (50)
  - 救急指定 (+) (50)
  - 回りハ (-) (25)
  - 療養 (-) (50)

n=19  
(17.9%)

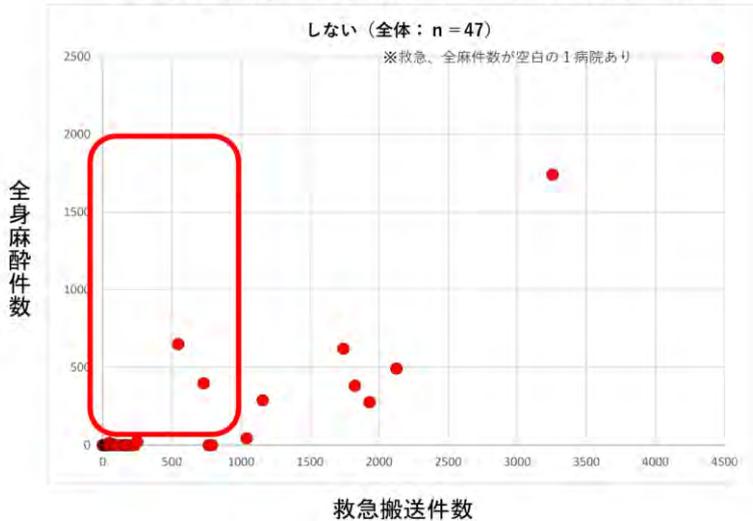
搬送件数

n=69  
(65.1%)

n=18  
(17.0%)

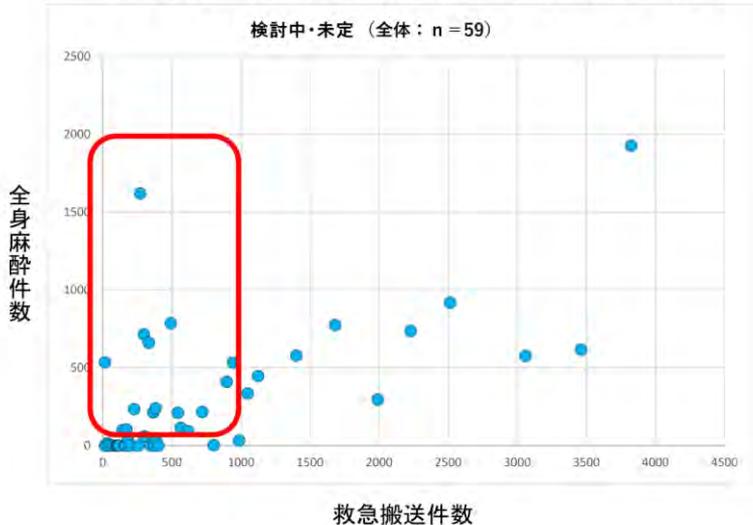
# サブ解析「赤の象限」(n=19)の特徴

サブ解析「赤の象限」(n=19)度数分布表



19

サブ解析「赤の象限」(n=19)度数分布表



20

		n		100%	
		2	17	10.5%	89.5%
		<b>赤</b>		<b>赤</b>	
		しない	検討中	しない	検討中
病院機能	急性期CM		12		63.2%
	PA連携		2		10.5%
	地域密着	1	3	5.3%	15.8%
	未回答	1		5.3%	

許可病床	200床未満	1	14	5.3%	73.7%
	200床以上	1	3	5.3%	15.8%

DPC	DPC	2	9	10.5%	47.4%
	非DPC		8		42.1%

急1、急2～6	急1		6		31.6%
	急2～6	2	10	10.5%	52.6%
	何れもなし		1		5.3%

医療法上の療養病床病床割合	なし	2	9	10.5%	47.4%
	あり		8		42.1%
	全て				

回りハ	あり		12		63.2%
	なし	2	5	10.5%	26.3%

救急告示、二次救急	あり	2	16	10.5%	84.2%
	なし		1		5.3%

  ≥ 50pt  
  ≥ 25pt  
  ≥ 12.5pt

一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。

# サブ解析「赤の象限」(n=19)の特徴

## (赤)定義:

- ・救急999以下
- ・全麻60以上の象限

## (赤)意向の特徴:

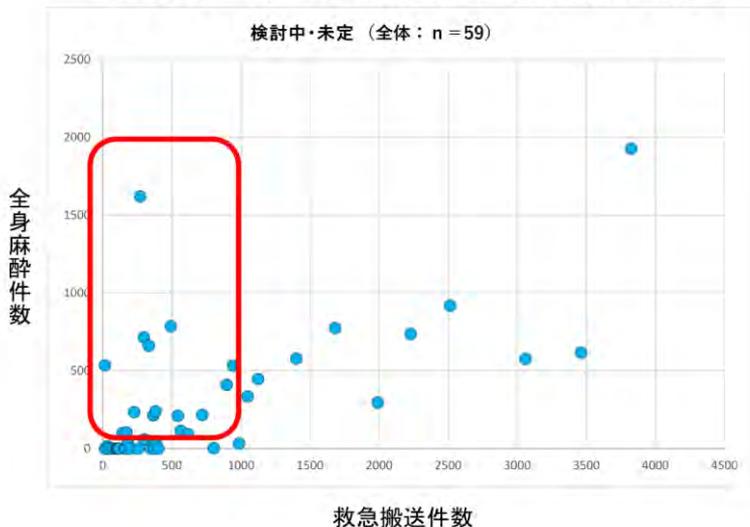
■ 検討中・未定が9割弱

## (赤)検討中・未定の特徴:

■ 同一カテゴリ内で、最高頻度と2番目の差が12.5pt以上の高頻度項目

- ・急性期CM(25)      ・～199床(50)
- ・急2-6(+)(12.5)      ・救急指定(+)(50)
- ・回りハ(+)(25)

サブ解析「赤の象限」(n=19)度数分布表



		n		100%	
		2	17	10.5%	89.5%
		赤		赤	
		しない	検討中	しない	検討中
病院機能	急性期CM		12		63.2%
	PA連携		2		10.5%
	地域密着	1	3	5.3%	15.8%
	未回答	1		5.3%	

許可病床	200床未満	1	14	5.3%	73.7%
	200床以上	1	3	5.3%	15.8%

DPC	DPC	2	9	10.5%	47.4%
	非DPC		8		42.1%

急1、急2～6	急1		6		31.6%
	急2～6	2	10	10.5%	52.6%
	何れもなし		1		5.3%

医療法上の療養病床病床割合	なし	2	9	10.5%	47.4%
	あり		8		42.1%
	全て				

回りハ	あり		12		63.2%
	なし	2	5	10.5%	26.3%

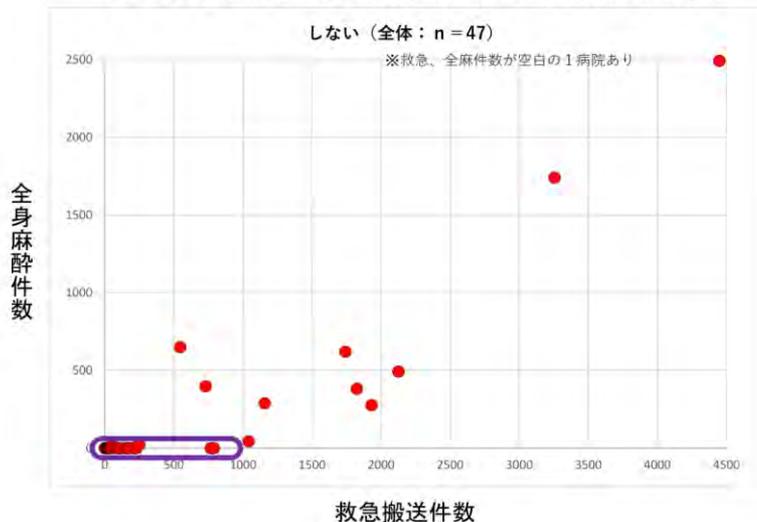
救急告示、二次救急	あり	2	16	10.5%	84.2%
	なし		1		5.3%

≥ 50pt  
 ≥ 25pt  
 ≥ 12.5pt

一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。

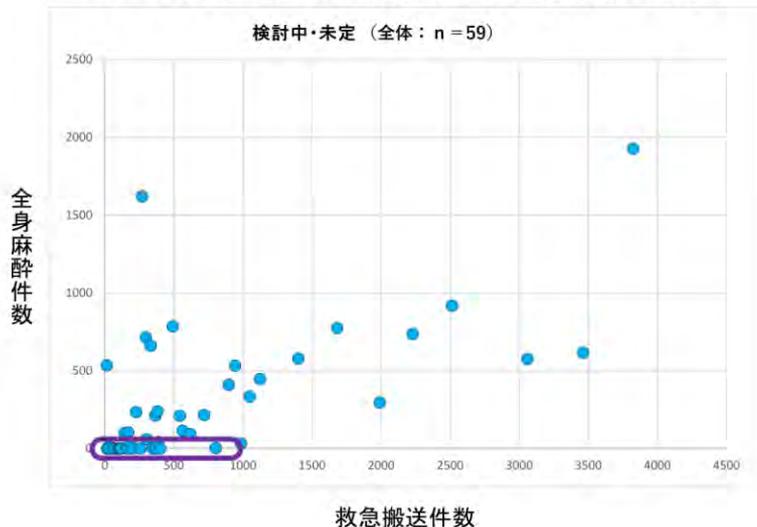
# サブ解析「紫の象限」(n=69)の特徴

サブ解析「紫の象限」(n=69)度数分布表



18

サブ解析「紫の象限」(n=69)度数分布表



19

		n		100%	
		37	32	53.6%	46.4%
		紫		紫	
		しない	検討中	しない	検討中
病院機能	急性期CM		5		7.2%
	PA連携	11	10	15.9%	14.5%
	地域密着	26	17	37.7%	24.6%
	未回答				

許可病床	200床未満	32	30	46.4%	43.5%
	200床以上	5	2	7.2%	2.9%

DPC	DPC	2	5	2.9%	7.2%
	非DPC	35	27	50.7%	39.1%

急1、急2~6	急1		3		4.3%
	急2~6	8	8	11.6%	11.6%
	何れもなし	29	21	42.0%	30.4%

医療法上の療養病床病棟割合	なし	17	16	24.6%	23.2%
	あり	14	15	20.3%	21.7%
	全て	6	1	8.7%	1.4%

回りハ	あり	18	11	26.1%	15.9%
	なし	19	21	27.5%	30.4%

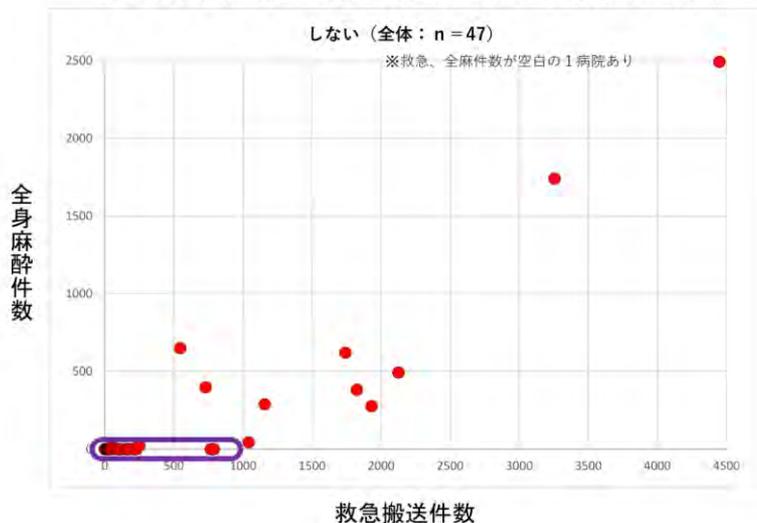
救急告示、二次救急	あり	24	16	34.8%	23.2%
	なし	13	16	18.8%	23.2%

≥ 50pt  
 ≥ 25pt  
 ≥ 12.5pt

一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。

# サブ解析「紫の象限」(n=69)の特徴

サブ解析「紫の象限」(n=69)度数分布表



## (紫)定義:

- ・救急999以下
- ・全麻59以下の象限

## (紫)意向の特徴:

■しないが過半数 5.5割弱

## (紫)しないの特徴:

■しないの割合が過半数の項目

・多数(検討中・未定と拮抗)

■同一カテゴリ内で、最高頻度と2番目の差が12.5pt以上の高頻度項目

・地域密着型(12.5)

		n		100%	
		37	32	53.6%	46.4%
		紫		紫	
		しない	検討中	しない	検討中
病院機能	急性期CM		5		7.2%
	PA連携	11	10	15.9%	14.5%
	地域密着	26	17	37.7%	24.6%
	未回答				

許可病床	200床未満	32	30	46.4%	43.5%
	200床以上	5	2	7.2%	2.9%

DPC	DPC	2	5	2.9%	7.2%
	非DPC	35	27	50.7%	39.1%

急1、急2~6	急1		3		4.3%
	急2~6	8	8	11.6%	11.6%
	何れもなし	29	21	42.0%	30.4%

医療法上の療養病床病棟割合	なし	17	16	24.6%	23.2%
	あり	14	15	20.3%	21.7%
	全て	6	1	8.7%	1.4%

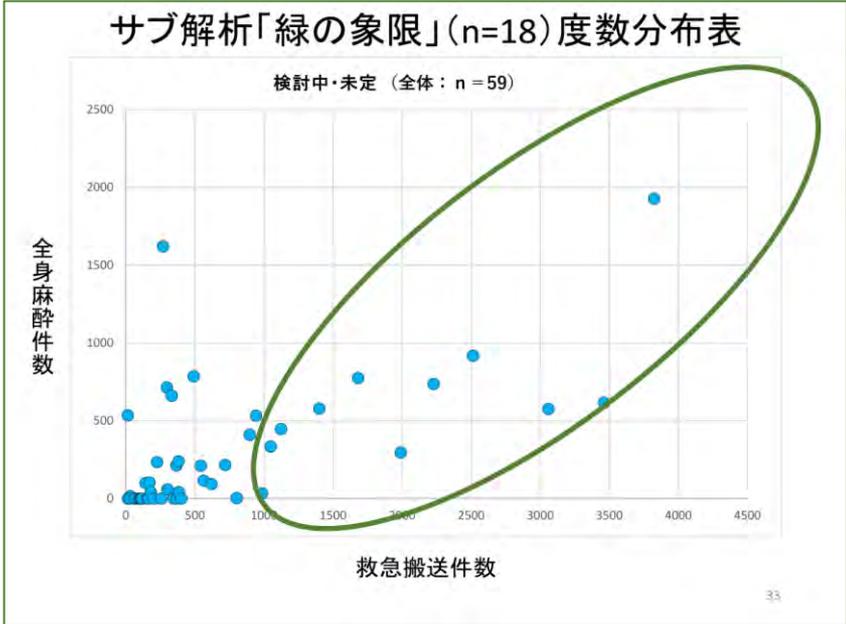
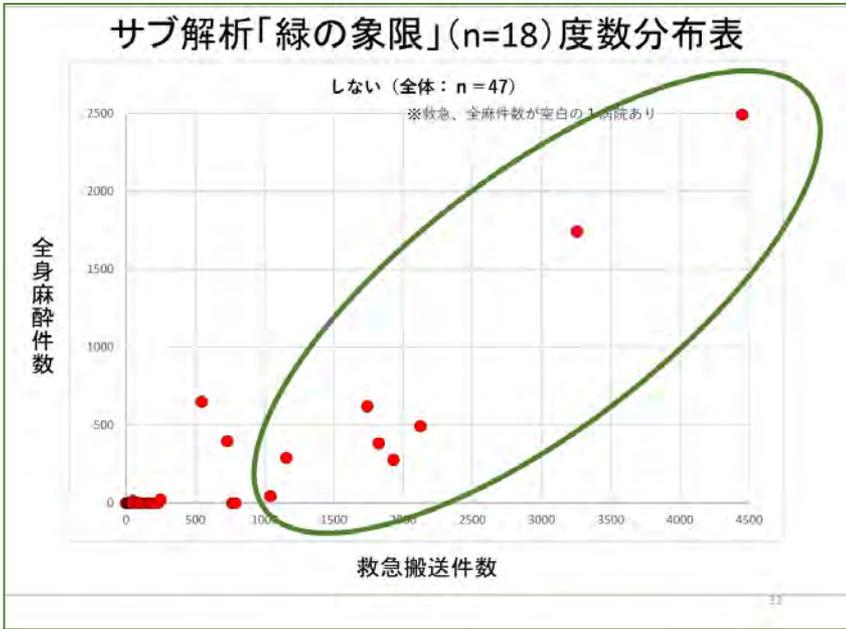
回りハ	あり	18	11	26.1%	15.9%
	なし	19	21	27.5%	30.4%

救急告示、二次救急	あり	24	16	34.8%	23.2%
	なし	13	16	18.8%	23.2%

≥ 50pt  
 ≥ 25pt  
 ≥ 12.5pt

一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。

# サブ解析「緑の象限」(n=18)の特徴



		n		100%	
		8	10	44.4%	55.6%
		緑		緑	
		しない	検討中	しない	検討中
病院機能	急性期CM	7	10	38.9%	55.6%
	PA連携				
	地域密着	1		5.6%	
	未回答				
許可病床	200床未満	4	1	22.2%	5.6%
	200床以上	4	9	22.2%	50.0%
DPC	DPC	6	9	33.3%	50.0%
	非DPC	2	1	11.1%	5.6%
急1、急2~6	急1	6	6	33.3%	33.3%
	急2~6	2	4	11.1%	22.2%
	何れもなし				
医療法上の療養病床病床割合	なし	6	9	33.3%	50.0%
	あり	2	1	11.1%	5.6%
	全て				
回りハ	あり	5	3	27.8%	16.7%
	なし	3	7	16.7%	38.9%
救急告示、二次救急	あり	8	10	44.4%	55.6%
	なし				

≥ 50pt  
 ≥ 25pt  
 ≥ 12.5pt

一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。

# サブ解析「緑の象限」(n=18)の特徴

(緑)定義:

- ・救急1,000以上・全麻0以上の象限
- ・両者がリニアに相関

(緑)意向の特徴:

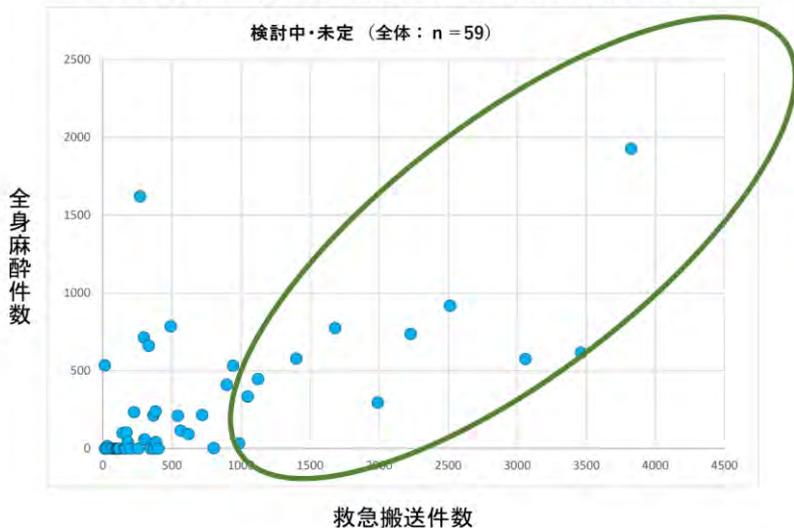
■ 検討中・未定が過半数

(紫)検討中・未定の特徴:

■ 同一カテゴリ内で、最高頻度と2番目の差が12.5pt以上の高頻度項目

- ・急性期CM型(12.5)
- ・200床～(25)
- ・DPC(+)(12.5)
- ・療養(一)(12.5)

サブ解析「緑の象限」(n=18)度数分布表



		n		100%	
		8	10	44.4%	55.6%
		緑		緑	
		しない	検討中	しない	検討中
病院機能	急性期CM	7	10	38.9%	55.6%
	PA連携				
	地域密着	1		5.6%	
	未回答				

許可病床	200床未満	4	1	22.2%	5.6%
	200床以上	4	9	22.2%	50.0%

DPC	DPC	6	9	33.3%	50.0%
	非DPC	2	1	11.1%	5.6%

急1、急2～6	急1	6	6	33.3%	33.3%
	急2～6	2	4	11.1%	22.2%
	何れもなし				

医療法上の療養病床病床割合	なし	6	9	33.3%	50.0%
	あり	2	1	11.1%	5.6%
	全て				

回りハ	あり	5	3	27.8%	16.7%
	なし	3	7	16.7%	38.9%

救急告示、二次救急	あり	8	10	44.4%	55.6%
	なし				

≥ 50pt  
 ≥ 25pt  
 ≥ 12.5pt

一つのカテゴリ内で、セル同士を比較して、最高頻度と2番目の差が左記ポイント(pt)以上のものをそれぞれの色で表現した。

## ■まとめ

# まとめ

■ 地域包括ケア病棟を届け出ている会員病院548病院に、地域包括医療病棟（以下地メディ病棟）に関する緊急アンケート調査を行った。回答数は112病院で回収率20.4%であった。

■ 地メディ病棟に転換すると回答した病院は5病院（0.5割弱）、転換しないと回答した病院は48病院（4.5割弱）、検討中・未定は59病院（5.5割弱）であった。

■ 様々なクロス集計を俯瞰して、救急搬送件数×全身麻酔件数の度数分布表が、地メディ病棟への転換意向を最もわかりやすく反映できると考察した。

■ 10月までに転換するとした5例は、3つの象限に分布していた。全て全身麻酔が250以下と少なく、救急搬送も4例が1,000未満であった。全てDPC対象外、急性期一般1をもたない。4例は200床未満であった。

■ 転換するが5例5%未満のため、法人情報保護のためこれ以上の解析はおこなわないこととし、転換しないと検討中・未定のサブ解析を行い、意向の違いを検討することとした。

# まとめ

■(する以外)は、サブ解析全体を表す。高頻度項目は、地域密着型、200床～、急性期一般(－)、DPC対象(－)、救急指定(＋)、療養(－)であった。しないと検討中・未定の比較では特徴を認めなかったため、度数分布表から以下の3つの象限に病院を分類して解析した。

■(赤)は、救急999以下、全麻60以上の象限で、サブ解析全例の2割弱を占め、急性期一般2-6(＋)、～199床、急性期CM型が高頻度項目であった。検討中・未定が9割弱と圧倒的に他2者より多く、その中の高頻度項目は、急性期CM型、～199床、急性期一般2-6(＋)、救急指定(＋)、回りハ(＋)等であった。

■(紫)は、救急999以下、全麻59以下の象限で、サブ解析全例の6.5割強を占め、急性期一般(－)、～199床、地域密着型が高頻度項目であった。しないが過半数を占めており、その中の高頻度項目は地域密着型であった。

■(緑)は、救急1,000以上、全麻0以上の象限で、サブ解析全例の2割弱を占め、急性期CM型、200床～、急性期一般1(＋)、DPC対象救急指定(＋)が高頻度項目であった。検討中・未定が過半数を占めた。

# 考察

■ 自院単独で今後の事業展開を考えるならば、

□ (緑)の病院グループは、地ケア病棟を届け出ており、救急や全麻が多いDPC対象の高度急性期病院である。急性期充実体制加算等が取れないので、専門性を高めつつも高齢者救急が増えるようなら、1病棟を地メディ病棟に届け出してはどうか。

□ (赤)の病院グループは、(緑)と比べて救急が少なく、全麻は遜色ない。地メディ病棟への転換も検討している病院が多い、急2-6を主体とする199床以下の中小病院である。高齢者救急の件数にもよるが、全麻が維持できる間は急2-6を維持して、全麻が減って(紫)の象限に近づき始めたら地メディ病棟を届け出てはどうか。

□ (紫)の病院グループは、急性期一般を持たず、DPC対象外で199床以下の内科系中心の地域密着型中小病院と思われる。転換しないが過半数を占めるが、最も病院数の多いグループであり、特に高齢者救急が多いようなら地メディ病棟を届け出てはどうか。

■ 地域全体で今後の事業展開を考えるならば、地域の民意度や病院文化、病院機能、首長の意向などを踏まえて話し合い、地域包括医療病棟を活かしてはどうか。

# 結語

- 地メディ病棟に転換する病院はまだわずかであり、2024.03.05の告示発出前の段階では決めかねていた病院がほとんどであった。
- 転換しないと検討中・未定のサブ解析では、全身麻酔件数×救急搬送件数の度数分布表を用いて、3つの象限に病院グループを分けて、考察することができた。
- いずれも地ケア病棟の届け出を取り下げ的意思はない。これからも地域包括ケアシステムの要として、地ケア病棟を有効に活用いただきたい。
- 今後地メディ病棟の細かい施設基準等が明らかになってから、転換を決定する病院も多くあると推察されるので、調査を継続する。